

## 経済産業委員会

視察者9名

実松、江原、中島、江口、稲葉、御厨、松永幹哉、千綿、中野

5月17日(水)

福島ロボットテストフィールド(福島県南相馬市)

◎福島イノベーション・コースト構想について

福島イノベーション・コースト構想は、平成23年3月に発生した東日本大震災および原子力災害によって大きな打撃を受けた福島県の浜通り地域等の産業や雇用を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトである。先端的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立やICTやロボット技術等を活用した農林水産業の再生等の主要プロジェクトの具体化に加え、産業集積の実現、教育・人材育成、交流人口の拡大など構想の実現に向けた取り組みを進めている。

同構想に基づき整備された福島ロボットテストフィールド(RTF)は、無人航空機や災害対応ロボットといったフィールドロボットの一大開発実証拠点となっている。ロボット技術の各種環境試験が実施可能であり、研究者の活動拠点として、研究室を備えている。

ロボット関連産業の育成・集積を推進しており、震災以降、福島県浜通り地域等に71社のロボット関連開



福島ロボットテストフィールド視察

# 視察報告

## 建設環境委員会

視察者8名

永淵、久米、山田、平原、山口、川原田、嘉村、西岡義広

5月17日(水)

広島県福山市

◎中央公園 Park PFI 事業について

福山市では、福山駅周辺エリアの再生が課題としてあり、平成30年に福山駅前再生ビジョンを策定した。福山駅南側にある中央公園をまちづくりの核の一つとし、官民連携によるにぎわい創出に向け、Park PFI(公募設置管理制度)を導入し、令和2年に異業種の地元企業6社からなるコンソーシアムを事業者を選定した。この事業では、公募対象施設であるガーデンレストラン整備、特定公園施設のあずまや、園路および植栽の整備、さらに公園を活用したイベント等を行っている。事業者が公園施設の設置や整備をする際に、市からの出資はなく、また、土地の使用料は市へ納めることとなっている。市の費用負担は、あずまやと樹木の整備後の買取費用で、予め価格面の条件を明示していたが、実際の整備費用よりも格段に安価となった。さらにその1/2は国の補助制度を活用した。整備された施設は、どれも公園全体の魅力を向上させるデザインとなっている。



福山市視察

今後は、地域の主体的な活動として事業の持続性が高まることや他のエリアへ事業が波及していくことを期待している。

5月18日(木)

京都府京都市

◎環境学習施設「さすてな京都」について

さすてな京都は、京都市南部グリーンセンター(ごみ焼却施設)に環境学習施設として併設されている。

京都市南部の横大路地域には、環境関連施設が多く立地し、主要幹線道路が集中しているが、地域住民の生活環境の改善が課題となっていた。平成19年3月、横大路地域の住民と京都市でまちづくり計画「伏見ルネッサンスプラン」を策定した。地域住民の要望として、「環境共生型都市・京都のシンボルゾーンとしての役割を果たす地区となるよう整備を進めてほしい」、「開かれた地区づくりと気軽に来訪できる空間づくりを」があり、環境学習施設であるさすてな京都を整備した。

さすてな京都では、ごみ処理に要する大規模な施設を間近で見学することができ、見学ルートの各所にモニターやパネルが設置され、最先端の環境技術を学べるようになっている。また、幅広い分野の学習プログラムでは、参加希望者の事前申込みも多く、魅力溢れる環境学習の拠点となっている。



京都市視察

## 水害対策調査特別委員会

4月14日開催

〔現地視察〕佐賀市排水対策基本計画の「施設の新設・改良」の事業である、南百姓樋管ポンプ、八田江排水機場、戊辰川排水機場、尼寺雨水ポンプ場で現地視察を行い、市および県の担当者から現状の説明を受けた。その後庁舎で執行部との質疑応答を行った。

〔質問〕南百姓樋管ポンプについて、有明海の満潮時に大雨が降った場合も、集落側の水を早津江川にポンプ排水するのか。

〔回答〕水位上昇に反応して自動的にポンプで排水を行うが、満潮時は集落内から河川への自然排水ができないため、国にポンプ車の出動を要請する場合もある。



南百姓樋管ポンプ視察

# 特別委員会

行政視察

6月6日(火)

京都府福知山市

◎雨水貯留施設の整備、各戸の耐水化、雨水貯留設備の設置について

福知山市は、市街地が山地と由良川本川の間に挟まれた低平地に位置しており、地盤高が堤防高に比べ低いことや、宅地化、市街化の影響で流域内の保水力が低下したことから、水害が頻発している地域である。平成26年8月には、福知山市街地を中心に観測以来最大の2日間で335mmもの集中的な降雨があり、甚大な浸水被害が発生した。

この被害を受け、福知山河川国道事務所と京都府、福知山市は、「由良川流域における総合的な治水対策協議会」を設立し、連携を強化し、「総合的な治水対策を実施した。協議会は、国、府、市がそれぞれの役割を持って対策しており、福知山市の役割として、排水ポンプの増強や流域全体における貯留施設等の整備を行っている。

また、土のう、水のう、水中ポンプ等の購入に対し補助金を交付するなどの各戸、事業所等の耐水化や雨水タンクなどの雨水貯留設備設置者に対し補助金を交付するなど各戸貯留



福知山市視察

の促進などのソフト対策を実施している。

6月7日(水)

広島県広島市

◎ICTを活用した浸水対策施設運用支援システム、止水板の補助等について

広島市は、中心市街地が太田川のデルタ地帯に位置している。都市化の進展により空き地が減少したことで雨水の浸透力が低下し、雨水が一気に下水道管に流れ込むことになり、局所的な豪雨に対応できず浸水被害が発生している。

被害の解消に向けて、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備等の浸水対策を進めている。一方で、浸水対策施設の整備には相当の期間を要することから、浸水(内水)ハザードマップの作成・公表や止水板設置補助金の交付などのソフト対策も併せて行っている。

今回の視察では、雨水幹線の整備やマンホールポンプの設置などの浸水対策の概要や止水板設置補助金制度、浸水発生要因となる情報を活用して既存施設の能力を最大限生かした運転を行うためのICTを活用した浸水対策施設運用支援システムなどの説明を受けた。



広島市視察

## 佐賀市議会 9月定例会のお知らせ

9月1日(金) 午前10時開会(予定)

- \*会期日程等については、開会日に正式決定し、ホームページでお知らせします。
- \*市内外のどなたでも傍聴することができます。車椅子での傍聴もできますし、文字情報モニターや補聴器もあります。
- \*常任委員会や特別委員会も傍聴できますので、ぜひおいでください。

## 皆さんの声をお寄せください!

より分かりやすく、読みやすい議会だよりとするために、感想や要望など自由なご意見をお寄せください。郵送、FAX、またはメールでお願いします。



〔送付先〕

〒840-8501 佐賀市栄町1-1  
佐賀市議会事務局  
FAX: (0952) 25-5407  
Email: gikai@city.saga.lg.jp

# 特別委員会

## 佐賀空港の自衛隊 駐屯地計画に関する 調査特別委員会

4月5日開催

〔現地視察〕 空港周辺に位置する2カ所の樋門を視察し、排水の現状を確認した。最も近いノリ養殖漁場までの距離は約200メートルと非常に近く、排水の水質管理が大変重要であることを再認識した。

### 行政視察

4月13日、14日

千葉県木更津市議会および陸上自衛隊木更津駐屯地を視察した。

木更津市議会では、木更津駐屯地に関する協議会の概要、オスプレイに関するこれまでの経過、木更津市が実施している駐屯地対策について説明を受けた。

陸上自衛隊木更津駐屯地では、オスプレイの概要および機体構造等に関する

説明を受けた後、離発着訓練の様子を視察し、機体が発する騒音等の状況を体験した。



木更津市議会視察



木更津駐屯地視察

5月30日開催

〔参考人招致〕 駐屯地計画に関する対応状況等について、九州防衛局から説明を受けた。

〔参考人説明〕 4月20日の国造掘60センチ管理運営協議会の勉強会で、駐屯地整備に伴う補助事業に関することおよび騒音対策、排水対策について説明を実施した。5月15日に佐賀県有明海漁協の検討委員会で、用地取得に関する考え方を説明した。5月18日に有明海漁協南川副支所と協定書を締結後、有明海漁協と駐屯地予定地の不動産売買契約を締結した。工事については、準備でき次第、土日祝日を含めて24時間体制で作業を実施する計画であり、交通安全対策として工事場所出入口に交通誘導員を配置して事故防止に努め、資材運搬時は経路を適時パトロールするとともに、排水対策として、工事区域内に降った雨水を仮設調整池に一次貯留し、濁水処理を行った後、流量を調整

して排水する計画である。

〔質問〕 用地取得に関し、地権者全員の同意は不要とのことだが、その根拠は。

〔答弁〕 駐屯地予定地の登記名義人である佐賀県有明海漁協と売買契約を締結しており、漁協内部の手続きについて問題は無いと認識している。

〔質問〕 24時間体制で工事を行う計画だが、なぜか。

〔答弁〕 島しょ防衛における防衛能力の構築が喫緊の課題であり、駐屯地の早期開設が必要と考えている。他の駐屯地工事において、夜間に作業を実施した事例もあり、それを踏まえて作業を実施するが、地域住民への影響をできるだけ低減するよう努める。

〔質問〕 2月に市と防衛省で合意された事項の中に「工事期間を含めて周辺環境に十分な配慮を行う」とあるが、夜間に工事車両が頻繁に住宅付近を通行するのは、周辺環境への配慮が欠けており、夜間工事を減らす工夫をしつつ工事期間を再検討すべきではないか。

〔答弁〕 工事車両は、関係法令を遵守して運用するとともに、できるだけ昼間に資材運搬を行い、周辺環境に影響が出ないよう対策を講じたい。

〔執行部説明〕 4月11日に九州防衛局に対し、地域経済の発展と雇用の確保を促進するため要望を行った。5月17日に陸上自衛隊木更津駐屯地を視察し、オスプレイの運用状況等を確認した。防衛省との定期的な意見交換および情報共有の場の創設に向けて協議中であり、月1回程度定期的に開催予定である。

〔質問〕 校区自治会等から住民説明会の開催を要望された場合、どう対応するか。

〔答弁〕 防衛省に対し、説明会を開催するように求めていく。

〔質問〕 防衛省に対し、駐屯地計画全般に関する住民説明会を開催するよう再度求めるべきではないか。

〔答弁〕 これまでに出されたさまざまな意見は、その都度防衛省に伝達しており、今後も市民に対し真摯な対応をすべく求めていきたい。

## 佐賀駐屯地（仮称）の設置及び運営に関する意見書

意見書第2号

### 佐賀駐屯地（仮称）の設置及び運営に関する意見書

九州佐賀国際空港隣接地への自衛隊駐屯地の設置計画については、最初に防衛省から佐賀県及び佐賀市に対して、佐賀空港の自衛隊使用要請のあった平成26年7月から8年以上を経過した、昨年11月に佐賀県有明海漁業協同組合が佐賀県との間で締結された「佐賀空港建設に関する公害防止協定覚書付属資料」を変更し、「県は、佐賀空港を自衛隊と共用することができる」とする重い決断をされた。

これを受け、佐賀空港の立地自治体である本市においても、慎重な検討を重ねた結果、今年2月に、懸念される事項など8項目について、防衛省との合意確認をした上で、佐賀空港への自衛隊の受け入れをやむを得ないと苦渋の判断がなされた。

その後、今年5月には、防衛省と整備予定地の地権者であった佐賀県有明海漁業協同組合との間で用地の売買が成立し、現在、駐屯地施設の整備にかかる工事が始まっている状況である。

佐賀駐屯地（仮称）の設置は、我が国の国防において重要であるのに加え、当該施設は、防災関連施設の機能も有しており、地域の防災力向上への貢献が望まれる。さらに本市においては、経済の面を初めとした地域の活性化に繋がることに期待する声も多い。

また、一方では、設置工事期間から設置後の運用における生活環境や事業活動等への影響を懸念する声もある。

これらのことに鑑み、佐賀駐屯地（仮称）の設置及びその後の運営にあたっては、下記の事項について留意して取り組むよう強く要望する。

### 記

- 1 駐屯地施設の整備に係る工事においては、市民の生活環境や事業活動への影響に配慮した適切な措置を講じること。
- 2 駐屯地施設の整備及び運営等における発注においては、地元企業を優先して活用すること。
- 3 佐賀駐屯地（仮称）を防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条に規定する特定防衛施設に早期に指定すること。
- 4 駐屯地に配備される自衛隊は、地域社会との調和を図り、地域社会の発展と本市のまちづくりに貢献すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月20日

佐賀市議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
防衛大臣